

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	農・林・水産業	
			地域医療、福祉・介護、教育	観光・交流	◎
			地域コミュニティ・集落再生	◎	環境
			地域交通・情報通信	まちづくり	
ふりがな		かすが としお			
氏名		春日 俊雄			
所属	名称	(合)荻ノ島ふるさと村組合/新潟産業大学			
	役職	代表社員/経済学部客員講師・附属柏崎研究所主席研究員			
連絡	住所	(公開)	〒 945-1512 新潟県柏崎市高柳町荻ノ島969番地		(自宅)
	連絡先	(公開)	E-Mail a-ruga[アットマーク]outlook.jp		
		(公開)	TEL 0257-41-3295	FAX -	
	連絡方法	E-Mailでお願いします			
略歴	1974～1976 大阪府松原市役所勤務 1976～2005 新潟県高柳町役場勤務(ふるさと振興課長、総務課長歴任) 1998～ 国土交通省地域振興アドバイザー 2002～ 観光カリスマ認定。(社)日本観光協会・観光まちづくりアドバイザー 2005～2011 新潟県柏崎市役所勤務(企業立地推進室長、観光交流課長歴任) 2007～ 地域活性化伝道師認定 2015 新潟県過疎地域及び山村振興地域の活性化方針検討委員 2016～2020 新潟県地域政策課地域づくり研究会委員 2017～ 新潟産業大学特任講師(観光学、観光資源論、観光経営論、観光ゼミ) 2017 地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰受賞 2021～2022 新潟産業大学附属柏崎研究所長、同大学地域連携センター長 2023～ 新潟産業大学客員講師(観光分野担当)、附属柏崎研究所主席研究員				
著作・論文等	1997 NIRA政策研究vol10 No.8 じよんのびを活かしたまちづくり(共著) 2003 新しい観光振興 同文館出版(株) (共著) 2005 観光カリスマ (株)学芸出版社(共著) 2010 新都市 第64巻第12号(財)都市計画協会 個性ある地域づくりの推(共著) 2012 AFCフォーラム2012. 1 (株)日本政策金融公庫 交流観光で住民と協働 2016 観光とまちづくりNo.522 (公財)日本観光振興会(学術論文) 2016 農村集落における食文化継承と観光との関連及び継承要因に関する考察(共著)				
取組概要	1988年から地域住民と協働して、地域のビジョンづくり及び実践、純産品マーケティング、人材養成、イベントづくりを行政職員として主導・自ら実践。交流観光施設「じよんのび村」、「茅葺の里」などに取り組み交流人口を3万人から23万人に伸ばした。その後も、特色ある集落振興ビジョンづくりや中山間地域直接支払い制度事業に取り組む。また、住んでいる荻ノ島集落についても新たな集落経営に向けて2011年ビジョンづくり、2012年外部人材の導入・空き家の実測、2013年～集落経営のツールとしての施設整備に取り組むなど実践している。そして平成27年に従来の不特定多数を対象とした交流から共感をベースに「共に支え合う共生・協働の都市農村交流」に転換し、横浜の社会福祉法人をはじめ3団体と協定を締結。米や野菜などの直販、移住者やインターンの受入、景観づくりなど集落の維持・持続に向けた活性化に取り組んでいる。2017年に荻ノ島集落が北陸農政局農山漁村活性化優良事例の認定を受ける。2018年に荻ノ島自治振興会があしたの新潟県を創る運動協会より新潟県自治活動賞を受賞。2023年より「人口が減少する中でも幸せのある地域を創る」をテーマに今後10～15年を見据えた新たな地域活動を主導し、「共に研究・共に実践」を掲げて取り組んでいる。				
メッセージ	実践的ノウハウと知見により地域住民の意識興し、住民と行政との協働活動、住民による主体的な活動などを基本に、地域資源を活用した持続型の「交流・観光」や「集落再生」の推進を自信を持ってサポートできる。特に地域の維持・持続につながる観光地域づくりとして「小さな観光」の実践と普及にも取り組んでおり、地域の活性化に貢献できる。				
関連ホームページ	http://www.facebook.com/oginoshima		活動エリア	全国	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メール送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。